

平成26年度 第2回函南町立図書館協議会 議事録

- 1 日 時 平成27年3月25日(水) 15時～16時45分
- 2 会 場 函南町立図書館 2階 研修室
- 3 出席者 委員 山邊 義彦 学校教育関係者
辻 真人 学校教育関係者
富永 和彦 学識経験者
今泉 良三 社会教育関係者
森 多美子 家庭教育活動者
石田 和久 学識経験者
中村 忠和 社会教育関係者
事務局 酒井 篤
大沼 裕幸
西澤 文雄
- 4 公開・非公開 公 開
の 別
- 5 傍聴人の数 0人
- 6 内 容
 - 1 開会
 - 2 挨拶 酒井 充 生涯学習課長
 - 3 報告事項 (1), (2)を合わせて大沼館長より説明
(1) 平成26年度事業報告
(2) 平成27年度事業計画

各委員から出されたご意見

委員 昨年12月頃だと思いますが、静岡県立図書館の資料を県内の図書館で受け取りを可能にする新サービスが試行されると静岡新聞に掲載されていて、その指定図書館に函南町立図書館が含まれていて嬉しかったのですが、実際に利用してみようと県立図書館に問い合わせたところ、県立図書館のカードを持っていないと利用できません。まずはカードを作ってくださいと言われました。カードを作るには県立図書館まで行かなければならないということで、わざわざ県立図書館まで行ってこの新サービスを受ける気にはならなかった。実際にこの新サービスを受けた利用者はいたのですか？

事務局 私たち職員は県立図書館のカードを持っていますので、実際にこのサービスを試しにやってみました。図書館職員以外でこのサービスを利用したのは、2、3名いらっしゃいました。ご指摘のあった、まずはカードを作成するところが最初のハードルなのですが、各市町図書館の窓口で県立図書館の利用者カードの申込みができるようにすればどうかと提案しています。今後、県立図書館がどのような判断をするのか注目しているところです。

委員 図書館のホームページに関するのですが、よく作られているし、よく更新もされていて、とても見やすいと感じています。今後さらにアクセス数が伸びていけば、実際に図書館に足を運ぶ人が増えるのではないかと思います。その中でもし可能であれば、ホームページ上で借りた本の履歴が残せるようになればさらに良くなると思いますがいかがでしょうか？

事務局 貸出履歴に関して、個人がどんな本を借りているかは個人情報の一つとして考えています。よって個人の貸出履歴が万が一流出してしまうようなことがあると大変な事故に繋がります。図書館のシステム上、貸出中の間はデータを持っていますが、返却されますとデータは消えるようになっていて、履歴を積み重ねることはできないようになっていています。当館ではその代替として、貸出中であれば借りた本のタイトル等、シールで打ち出すことができるようになっていています。読んだ本の履歴を残したいという利用者はシールを打ち出していただき、それをノートに貼るなどして、履歴を残していただければと思います。

委員 小学校の読み聞かせをやっているお母さんから聞いた話ですが、図書館に本を借りに行っても、絵本についてはタイトルのあいうえお順ではなく、絵本画家のあいうえお順で並んでいるので、読みたい絵本がどこにあるのかわからないという話を聞きました。図書館ができる前の図書室の時はタイトルのあいうえお順で並んでいたのですが、図書館になって絵本画家のあいうえお順で並んでいるので困惑していると。タイトルで絵本を探すことが多いので、何か簡単に探し出せるような方法はありますか？

事務局 館内の蔵書検索機でタイトルを入力して検索すると、画面に書架の場所が表示されるようになっていています。絵本以外は著者名のあいうえお順になっていますが、絵本だけは文を作る作家とその絵を描く絵本画家と別の場合があります。絵本は絵がメインであるという理由から当館も含め多くの図書館では絵本画家のあいうえお順に並んでいます。他の市町の図書館にも聞いてみて、工夫していることがあれば取り入れていきたいと思っています。

委員 先日、私が勤務しているところの職員提案の中に、図書館でぬいぐるみのお泊りをやったらどうかという提案がありました。この発想はとても男性からは出てこないところで驚きましたが、他の歴史系の博物館のホームページを見ていたら、そこのゆるキャラのぬいぐるみが博物館にお泊りをして、翌日にまた博物館に子どもたちが迎えに来ていました。子どもたちがとてもうれしそうに博物館に来ていたということが掲載されていました。いろいろとやってみると案外おもしろいことになるのかなと思いました。

事務局 私たちも常にアンテナを高くして、他の図書館ではどんな事業をやっているのかと情報を収集しています。ぬいぐるみのお泊りについては、最近いろいろなところで実施されているようです。実際にぬいぐるみのお泊りを行ったところでは好評を得ているようです。函南町におきましても平成27年度のイベントの中で、まだ具体的には決まっていますが、ぬいぐるみのお泊り

も候補の一つとして考えていきたいと思っています。

委員 小学生の利用のことについて、小学生の利用が減っているという説明がありました。私は実際に小学校3校に足を運んでいました。その理由について考えてみましたが、小学校は学校図書館の司書の方が大変な努力をされていて、学校の図書館の利用が増えている。そのことが理由で町立図書館の利用が減っている結果になっているのではないかと考えます。また小学校はキャリア教育で調べ学習が盛んに行われていますが、その調べ学習で使う本が充実しています。そういった理由も合わせて町立図書館の利用が減少しているのではないかと思います。

事務局 小学生の利用に関しては、図書館の利用が減って、学校の図書室の利用が増えているのであればいいのですが、学校司書との連絡会の中では、図書室の利用も減少しているという話がありました。理由は明確ではありませんが、学力テストの結果や体力テストの結果等を踏まえ、そちらの方に時間を費やし、朝読書等の読書する時間が削られているのではないかと思慮しています。

また、平成25年度は開館1年目であり、新しくできた図書館に興味を持っていただいた児童が多かったのかもしれませんが、もしかすると平成26年度の利用実績が落ち着いた数字なのかもしれません。平成27年度の利用実績を見ながら、平成26年度よりも利用実績が減少するようでは問題なのですが、同じくらいの数字であれば、平成25年度の利用実績は開館初年度ということになり数字が多かったということが考えられます。

議長 学校は読む機会は作れますから、その中でどのように図書館とコラボしていくことができるか、これは具体的に動いていますから、何か忙しくなったから貸出冊数が減少したという分析ではなく、借りる機会をもう一度見直してみるというようなことを学校に働きかけていただければと思います。

4 協議事項

(1) 移動図書館の導入について 事務局より主旨の説明

各委員から出されたご意見

課長 補足説明をさせていただきますが、これから本格的な調査が必要であるということになると、どの程度実施するかも含めて結論をいただかないと、予算があって動くこととなりますので、来年度実施するならば、今年の10月までには結論を出し、それに基づいて来年度予算を計上しておかないと間に合いません。導入することを前提に協議をするのではなく、その代替も含めて今後検討していくことが必要であると考えています。

議長 導入の方向性については決定はしていない。導入をするに当たっては、その必要性をどのように担保していくのか、費用対効果はどうなのかと、細かい部分までみていかないと大きなお金を動かすことはできないと思います。ここから先のことについては十分協議を重ね、検討していきましょうという受け取り方でよろしいでしょうか？

課長 何かしらの予算化をしておかないと、ものは前に進んでいかないので、こちらの方もできる限りの調査は実施しますが、もっと大々的な調査が必要ということになると予算が必要となります。この図書館協議会での意見が予算の裏付けになりますので、慎重なご審議をお願いしたい。

議長 今日はこういう提案を受けたという認識でよろしいでしょうか？

事務局 平成27年度に皆さまのご意見をいただきながら導入の検討をしていきたいということをお願いしたいと思います。

議長 委員の皆さまも所属の部署等で声を聞いていただきながら参加していただきたいと思います。

5 閉会 大沼館長あいさつ

事務局 平成25・26年度に関しては7月と3月の2回にわたり協議会を開催してきましたが、平成27年度は移動図書館の件がありますので、1回目の協議会を5月の下旬又は6月の上旬でお願いしたいと考えています。